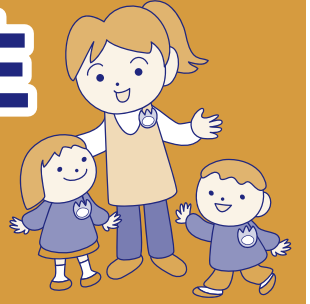


父母の運動で認可保育園が次々に誕生 さらなる増設で待機児解消を!



今年4月、中延、南品川、東品川に私立認可保育園3園が開設。6月には区立北品川第二保育園(幼保一体施設北品川すこやか園内)が開設。来年、4月に二葉、11月に大井と私立認可保育園2園の開設が予定されています。(左表参照)

品川保育問題協議会、新日本婦人の会など、認可保育園増設を求める請願運動を粘り強く進めてきた成果です。共産党は2001年から、「待機児解消は認可保育園増設でこそ」と求めてきました。

4月に406人も入れない

区は、将来乳幼児人口が減り、認可保育園増設は財政負担になるからと、増設には消極的。既存保育園の定員増や詰め込み、国基準以下に規制緩和した認証保育園誘致で



2010年以降の新設認可保育園一覧

年月	保育園名	定員
2010.6	区立西五反田第二保育園(西五反田6)※	130名
2011.4	私立とうかいどう保育園(南品川1)	99名
2011.4	私立グローバルキッズ荏原町保育園(中延5)	90名
2011.4	私立みずなら保育園(東品川3)	82名
2011.6	区立北品川第二保育園(北品川3)※	51名
2012.4(予定)	私立認可保育園(二葉1)	60名
2012.11(予定)	私立認可保育園(大井1)	60名

※幼保一体施設は保育園名で記載

乗り切ろうとしてきました。結果、待機児が溢れ、406人も入れませんでした。共産党は、議会の度に質問し区議会報告を通して、待機児の実態を区民に伝えてきました。

区は、安上がりな事業所型保育ママ制度を広げ、国は、公的保育制度を壊す「子ども子育て新システム」への改悪を進めています。共産党は、国と自治体の責任を強化しなければ待機児問題は解決しないと考えます。特に大崎、五反田など保育需要が高い地域には、一刻も早く区が責任を持つ区立保育園増設を求めています。旧第一日野小跡地を活用し、認可保育園など、区民要望の施設建設を進めるよう、引き続きがんばります。

木造住宅

耐震診断2か月待ち

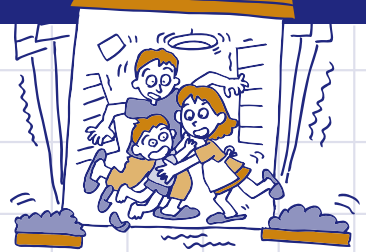
体制強化を急いで!

東日本大震災後、住宅耐震化への希望が急増し、木造住宅の耐震診断を受けるのに2ヶ月待ちとなっています。共産党は、区が掲げる「耐震化90%」目標達成のためにも、一日も早く耐震診断を受けられるよう技術者の体制を強化するよう求めています。

阪神淡路大震災で亡くなった方の8割が倒れた家や家具などによる圧死でした。共産党は、この教訓を生かして住宅の耐震化への助成を提案。

区は当初「自分の財産は自分で守れ」とのべていましたが、世論と運動が広がり2004年に木造住宅の耐震診断への助成が実現しました。共産党はさらなる制度充実を求め、助成の増額やマンションへの支援も実現。今年度予算にも反映しました(表参照)。

なお、品川区議会は今年度、震災対策特別委員会を設置しました。共産党は住民要望実現へ頑張ります。ご意見をお寄せください。



増額された耐震助成の一部

	昨年	今年
木造住宅耐震設計助成	0円	→ 20万円
木造住宅耐震改修工事	75万円	→ 150万円
木造住宅建替え助成※	75万円	→ 150万円
マンション耐震設計助成	0円	→ 100万円
マンション耐震改修工事	0円	→ 2500万円

それぞれに助成上限額や助成率があります。※以外は区内全域が対象です。

五反田駅乗り換え 通路に屋根が実現



地域の方の要望で、駅や地域で署名723人分を集め7月28日JRに要請。早速、今年度設置すると回答ありました。

鈴木ひろ子

事務所：中延2-11-7 電話：3783-8833

若者の就労支援の さらなる充実を



「仕事が怖い…」一度、挫折した若者の仕事復帰はとても困難です。就労支援を区に要求。実現するまで頑張ります!

石田ちひろ

事務所：南品川6-19-8 電話：5462-2133

私道整備を速やかに



私道の凸凹が目立ち整備が求められているのに、工事は申請から1年待ち。予算の増額を求め、速やかに補修が進むよう頑張ります。

いいぬま雅子

事務所：小山2-16-1 電話：3787-5425